

令和5年5月

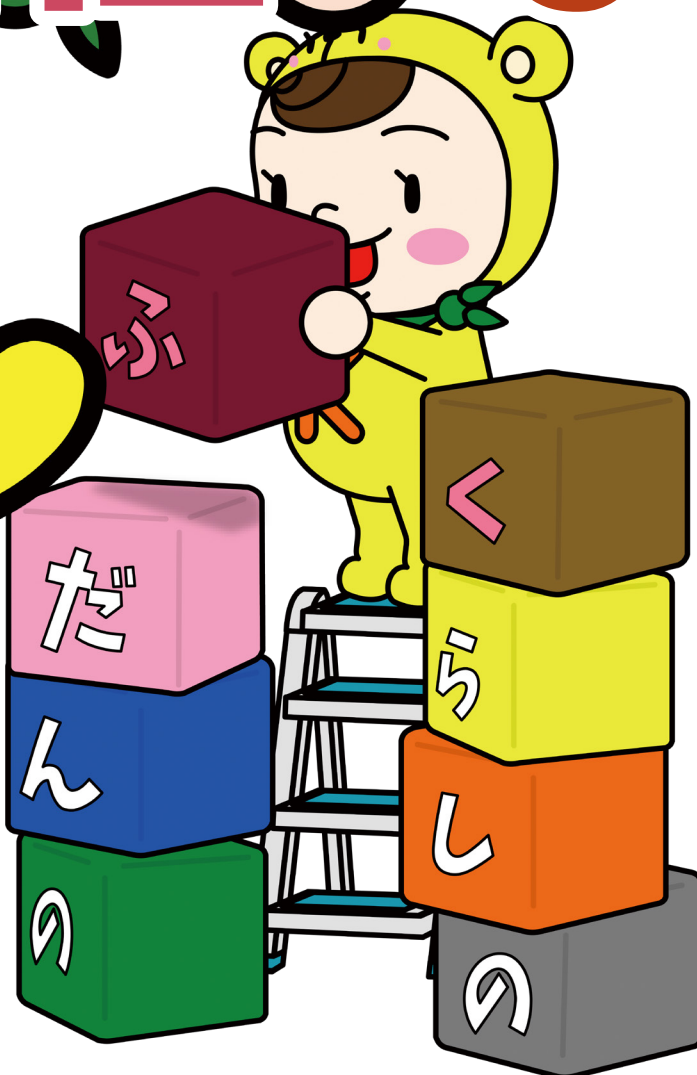


よめばやさしくなる
しやきょうの
こうほうし



福祉くまの

社会福祉協議会とは



熊野市社会福祉協議会の一部事業には、赤い羽根共同募金配分金を活用させていただいております。

社会福祉協議会とは

そもそも社協とは？

社 会福祉協議会（略して社協とも
いいいます）は、全国、都道府県

（特別区、政令指定都市）、市町村単位
にあり、社会福祉法に明記された、民間
法人（社会福祉法人）です。他の会

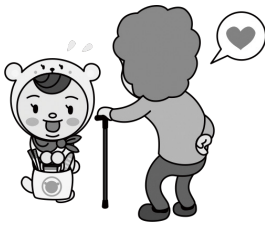
社法人などと同様に、独自のルールを
定めて事業活動を展開しています。形

式はそれぞれ違いますが、さまざまな
生活課題を抱えている人たちに寄り添

い、地域の皆さん、行政機関等と共
に、解決に向けて取り組む「地域福

祉事業」を活動の主体としています。

2000年からは介護保険事業を実施
している社協も多く、予算規模の大半
を占めるその事業の収益も、先に述べ
た地域福祉事業の財源に充当すること
で地域に還元しています。



いったい何を目的に、どのような活動をしている組織なのか、
皆様に少しでも社協のことを知って、一人でも多くの方に関
心をもってもらいたい思いで、第1弾の特集として取り上げま
す。

ふだんの

くらしの

しあわせの相談先

も し、皆さんやご近所の方に、生
活上での困りごとがあれば、社

協へ相談してください。制度や事業を
活用したり、適切な相談先につなぐな

ど、問題解決のお手伝いをする、それ
が社協です。例えば、自分自身や家

族の、「介護、支援が必要になった」「生
活費など金銭的な悩みがある」「ご近

所で気になる人がいる」「その他生活
全般にかかる心配ごと」など、何でも

ご相談ください。また、ボランティア
や、サロンなどの活動に参加してみたい

などの相談もお待ちしています。活
動の側面的支援として、いろいろな講

座も開催しており、どなたでも参加し
ただけます。つまりは社協は、「居

だんの、くらしの、しあわせ」のため
の相談窓口なのです。

ニーズ（需要）に応える

地 域の福祉ニーズに応えるため、
行政、関係機関と協力しながら

色々な事業に取り組んでいます。市内
16地区の地区社協と共に、給食サービ

スや見守りなどを通じて、ひとり暮ら
しのお年寄りの生活を支えるなど、地

域の実情に応じた福祉活動を行って
います。また、高齢者や障がいのある方

に対する、公的な制度に基づいたサー
ビスを提供したり、車いす、福祉車両、

イベント用品、その他の物品貸出しも
行い、皆さんの生活のお手伝いと、地

域の活動を応援しています。

活動のための財源（お金）

先 に紹介した活動に必要なお金
は、皆さんからの善意の寄付や

社協会費、赤い羽根共同募金配分金、
熊野市や三重県、三重県社協からの事

業補助金、事業受託金、そして、介護
保険サービスや障害福祉サービスなど

の提供により得られる収入などが主な
ものです。

おわりに

民 間の法人とはいえ、社会福祉
法人、社会福祉協議会として

の社会的責任は大きく、収益を上げ
る以上に、地域の皆さんの為に、そ

の役割を果たすことを大切にしてい
ます。しかし中には、「社協を知ら

ない」という話も聞かれています。
さみしい半面、まだまだ伝える活動

と、伝える機会が足りないという現
実も受け止めなければなりません。

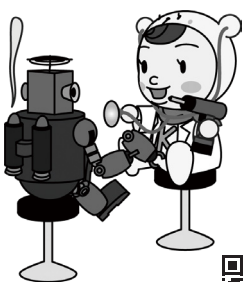
これからも、このような機会を積極
的につくり、私たちを知ってもらえ

るよう頑張ります。皆さんに支えら
れて成り立つ社協なのですから、ま

ずは知ってもらわないと話になりま
せん。応援よろしく願います。

※予算状況などはHP参照。

「千」ラ↓



おたんじょうびおめでとございます！

満百歳記念事業

3/17

大正12年3月15日生まれ
前岡千代枝さん(育生町)



同席された息子さんからの「次は二百歳までやな！」と呼びかけにとっても良い笑顔を見せて下さいました。

3/23

大正12年3月15日生まれ
濱口信枝さん(木本町)



百歳とは思えないほどお元気で、笑顔がとっても素敵でした。いつまでも元気で過ごしてください。



第17回社協ふれあいフェスタ

令和4年度2回目の開催となった社協ふれあいフェスタ。「くま、ルシェ」というテーマのもと、多数のボランティア団体や福祉施設が出席。当日は、子どもからお年寄りの方が福祉について「見て、買って、体験する」楽しいイベントとなりました。約300名の方々に来場していただき、ステージでのショーも大盛況でした！

3/9

生活交流会

紀宝町福祉センター

活動場面の写真を確認しながら令和4年度の事業に参加者皆で振り返りました。「楽しかったね」「難しかったね」と思い起こした後はビンゴ大会で大盛り上がり！ビンゴになると、豪華賞品が贈られました。



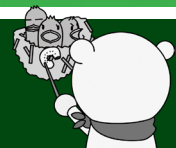
ボランティアセンターからのお知らせ♥ボランティアセンターからのお知らせ♠ボランティアセンターからのお知らせ◆ボランティアセンターからのお知らせ♣ボランティアセンターからのお知らせ

ボランティアスキルアップ研修会

令和5年3月26日(日) 熊野市保健福祉センター



市内で活躍中のボランティアさんや、ボランティアに興味がある人を対象に開催。ボランティアの概念や、地域づくりへの住民の巻き込み方について学びました。参加者同士で意気投合し、新しいボランティアへ参加する人もいました！



無料法律相談

- ◆開設日 5月16日(火)
6月20日(火)
- ◆相談員 片山眞洋 弁護士
- ◆会場 保健福祉センター
- ◆時間 13時から(一人15分)
- ◆相談内容 民事全般
- ◆(相続、離婚、雇用、他)
- ◆予約前日の15時まで
- ◆担当 地域福祉係 伴(ばん)



リサイクル情報

ご家庭で使わなくなった介護用品や乳幼児用品、また、「譲ってほしい」という品物を登録し、地域でリサイクルする制度です。品物を「ゆずりたい」または「ゆずってほしい」場合は気軽に問い合わせください。情報はホームページのリサイクルのページでも確認いただけます。



リサイクルのページ



くましゃんコンテスト

もっと多くの人にこの「福祉くまの」を見てもらいたいと、毎年いろいろと試行錯誤を繰り返してきましたが、今年は「くましゃんコンテスト」を開催します。テーマは毎回変わります。そして入賞者には、豪華賞品の進呈と、作品も紙面に発表します。「よめばやさしくなるしやまよつこのうしろ」として、毎回発行していますので、子どもたちにも読んでほしいという思いから、テーマによっては小学校にもチラシ配布で呼びかけを行います。作品の投稿も、スマートフォンなどで行えます。ほとんどです。ぜひ、社協だよりを読んで、その感想と作品の投稿をお願いします。そして記念すべき第1回のテーマは「くましゃんイラストコンテスト」です！あなたのくましゃんをお寄せください。



よしきくん(44)の作品



- ◆作品テーマ・・・くましゃんのイラスト
- ◆投稿方法・・・次のいずれかの方法で。①画像ファイル(写真、イラスト)をホームページのおてがみから送る②郵便で送る③社協に持ってくる
- ◆応募締切・・・令和5年5月30日必着
- ◆作品選考・・・くましゃん賞他2賞を選考
- ◆入賞賞品・・・LINEプリペイドカード(千円)

くまちがいさがし

新緑がまぶしい季節！心もウキウキくまちがいさがし！くまちがい箇所は8こ！さて、今回も、またまた争ぶくましゃんグッズ「くましゃんもぐもぐスプーン」を5名の方に！くましゃんと一緒に、モリモリ食べよう！



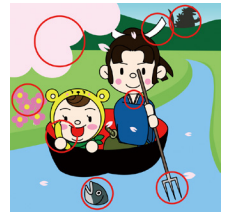
目には、青葉、山ほととぎす、初がつお。この季節になると頭に浮かぶ俳句です。▼本来俳句の季語は一つですが、この俳句には3つもあります。また、視覚、聴覚、味覚と夏の風物詩をそれぞれの感覚で合わせたちよつと変わった句だそう。▼改めてそう考えると、なかなか粋な俳句です。▼ただ、視覚、聴覚よりも、ボクはやっぱり味覚ですね。ネギ大葉、山ほど盛って、初がつお。あ、タマネギ。(あきひと)



- ①はがきに文字で答えを書いて送る
 - ②この絵に記入して、はがきに貼って送る
 - ③この絵に記入して、写真を撮って「おてがみ」から送信する
- はがき ☎ 519-4324 熊野市井戸町 1150 番地 熊野市社会福祉協議会くましゃん宛 「おてがみ」 ☎ 熊野市社協 HP「おてがみ」から。

福祉くまの、くましゃんの感想もかいてね♡
令和5年5月30日(火)まで

前回の答えと当選者



- 岡本 憲明さん
- 齋藤 忠生さん
- 西畑 輝子さん
- 濱田 健佑さん



福祉くまの no.106
(2023年5月)

発行 社会福祉法人 熊野市社会福祉協議会
☎ 519-4324 三重県熊野市井戸町 1150 番地
☎ 0597-89-5000 FAX 0597-89-3068

